

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 4 部門第 1 区分  
 【発行日】平成 21 年 1 月 8 日 (2009.1.8)

【公開番号】特開 2007-32169 (P2007-32169A)  
 【公開日】平成 19 年 2 月 8 日 (2007.2.8)  
 【年通号数】公開・登録公報 2007-005  
 【出願番号】特願 2005-219537 (P2005-219537)  
 【国際特許分類】

E 0 2 D 5/80 (2006.01)

E 0 1 F 7/04 (2006.01)

【 F I 】

E 0 2 D 5/80 Z

E 0 1 F 7/04

【手続補正書】  
 【提出日】平成 20 年 11 月 18 日 (2008.11.18)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

パイプアンカーを地中に埋設するにあたり、パイプアンカーとして本体先端部内側に推進力受け部を有するものを使用し、径が拡張可能なビットヘッドを先端に有しその後方に前記推進力受け部に当接可能なつば部を備えたビットとハンマー部および回転軸部を直列にした掘削アッセンブリーを前記パイプアンカーに挿通させ、ビットヘッドをアンカー下端外で拡張させた状態で回転軸部とハンマー部を介してビットを回転させつつ、前記ハンマー部の推進力をつば部から推進力受け部に伝えることで所要深さに達するまでパイプアンカーを一体に推進させ、次いでビットヘッドを推進力受け部の内径より小さく縮径し、掘削アッセンブリーをパイプアンカー内から抜き取ることでパイプアンカーを地中に埋設することを特徴とするパイプアンカーの埋設方法。

【請求項 2】

施工場所に打ち込みフィード用の架台を据付けて行う請求項 1 に記載のパイプアンカーの埋設方法。

【請求項 3】

パイプアンカーとして亜鉛あるいはアルミ亜鉛合金メッキが施されているものを用いる請求項 1 又は 2 に記載のパイプアンカーの埋設方法。